

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合への対応について（三菱重工業株式会社）

2. 日時：令和4年12月5日 16：45～17：25

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官

（システム安全研究部門）

後神主任技術研究調査官、川口技術研究調査官

三菱重工業株式会社：

原子力セグメント 機器設計部 主席プロジェクト統括 他6名※

5. 要旨

（1）三菱重工業株式会社（以下「MHI」という。）から、本日の審査会合（第21回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合）において議論された以下の事項についての確認があった。

- 品質基準適規則の基準適合性について、実用炉規則111条の要求事項への適合について説明すること。
- 貯蔵用三次蓋の材質及び形状の変更による質量の変化について説明するとともに、貯蔵時や輸送時の取扱いに影響がないか説明すること。
- 遮蔽解析に使用したMCNP5コードの適用妥当性について、学会標準のガイドラインを参考とした検証作業の方針を明確にし、結論に至るまでの論理展開が適切となるように見直すこと。

（2）原子力規制庁は、上記の確認事項に関する説明資料の作成を依頼するとともに、本日の審査会合における議論を踏まえ、引き続き確認を行うことを伝えた。

（3）MHIより、本日の議論を踏まえた説明資料の作成等について、了解した旨、回答があった。

6. その他

提出資料なし

以上